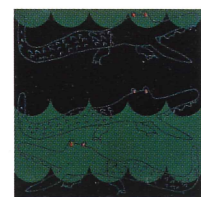




ん
技法 漆絵、呂色仕上げ



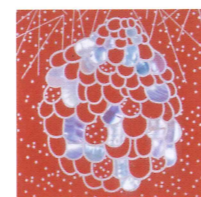
わに
技法 漆絵、呂色仕上げ



らいおん
技法 漆絵、呂色仕上げ



やぎ やね
技法 檜、木地蒔絵
螺鈿(やね)



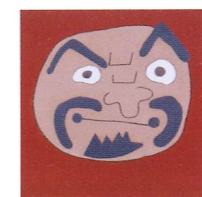
まつぼっくり
技法 螺鈿、銀平蒔絵
(まつぼっくり)



はな
技法 漆絵、呂色仕上げ
沈金、線彫り、平
彫り



なめくじ
技法 七宝焼(なめくじ)
漆絵、呂色仕上げ



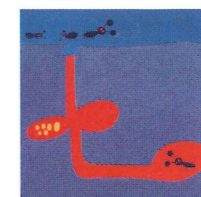
だるま
技法 漆絵、呂色仕上げ
七宝焼(目)



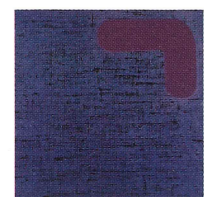
さかな
技法 漆絵、呂色仕上げ
金平蒔絵(さかな)
螺鈿(水中)



かい
技法 漆絵、呂色仕上げ
金平蒔絵(かい)
螺鈿(水中)



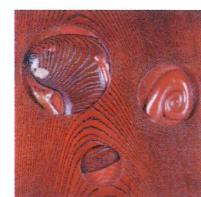
あり
技法 漆絵
乾漆粉による石
目(地面)



ー
技法 布目、炭粉蒔仕
上げ
乾漆粉(ー)



みのしし
技法 漆絵、呂色仕上げ
金消粉蒔き(鼻)



りす
技法 檜、木彫、摺漆
蒔絵(りす)



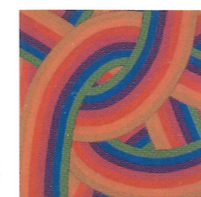
ゆ参照



みかん
技法 檜へぎ目、木彫
蒔絵(みかん)



ひこうき
技法 七宝焼(ひこうき)
銀消粉蒔き(雲)



にじ
技法 漆絵、呂色仕上げ



ちゅうりっぷ ちょう
技法 漆絵、呂色仕上げ
沈金、点彫り、平
彫り



しまうま
技法 漆絵、呂色仕上げ



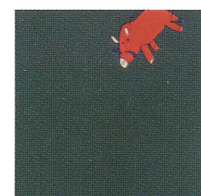
きのこ
技法 漆絵、呂色仕上げ



いえ いぬ
技法 銀研出蒔絵
(いぬ、骨)
漆絵、呂色仕上げ



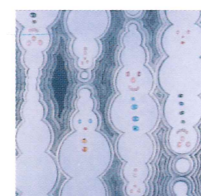
?
技法 色漆呂色仕上げ
色粉蒔き仕上げ



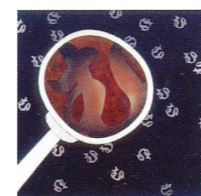
み参照



るびー
技法 漆絵、呂色仕上げ
色粉蒔き仕上げ
(るびー)



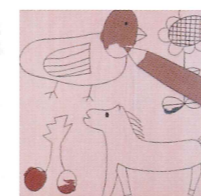
ゆきだるま
技法 アルミ粉平蒔絵、
沈金、点彫り
天然石



むしめがね
技法 梨地、研出蒔絵
(むしめがね)
平蒔絵(む)



ふじさん
技法 漆絵、呂色仕上げ
卵殻(積雪)、銀
消粉蒔き(雲)



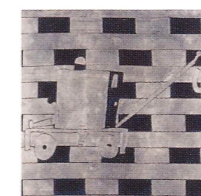
めりえ
技法 檜、漆絵



つき
技法 地蒔き金箔押し(つき)
銀炭粉磨き仕上げ(雲)



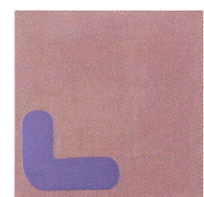
すずめ
技法 漆絵、呂色仕上げ
銀粉地、色粉蒔き
仕上げ(すずめ)



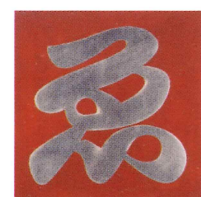
くれーん
技法 黒呂色仕上げ
金箔蒔



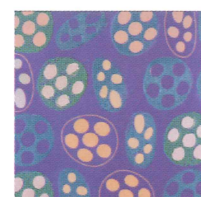
うさぎ
技法 銀消粉蒔き
七宝焼(目、鼻)



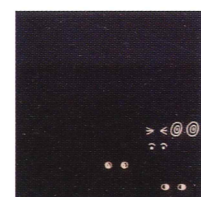
ー
技法 布目仕上げ、漆絵



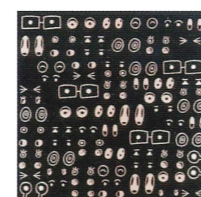
系
技法 地蒔き金箔押し



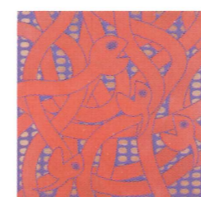
れんこん
技法 漆絵、呂色仕上げ
はんこによる複
写(れんこん)



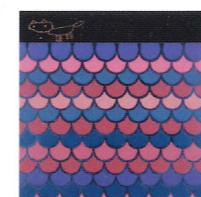
め参照



め
技法 金消蒔絵
沈金、線彫り、点
彫り



へび
技法 色粉蒔き仕上げ(へび)
金平極粉蒔き(模様)



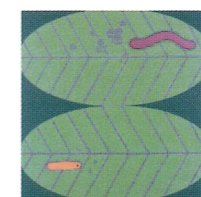
ねこ
技法 金平蒔絵(ねこ)
漆絵



てんとうむし
技法 漆絵、呂色仕上げ
螺鈿、平文(模
様)



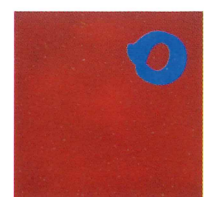
せみ
技法 檜、木彫、摺漆
蒔絵



けむし
技法 漆絵
布目仕上げ(葉)



えんぴつ
技法 檜、摺漆
蒔絵



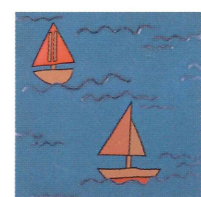
。
技法 色漆呂色仕上げ
色粉蒔き仕上げ



を
技法 漆絵、呂色仕上げ



ろぼと
技法 金、銀平極粉蒔き
色粉蒔き仕上げ



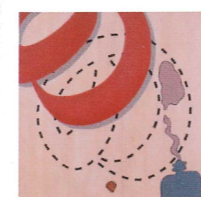
よとと
技法 平文(波)
漆絵、呂色仕上げ



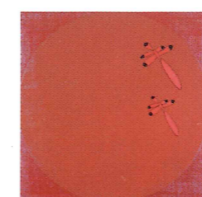
もも
技法 漆絵



ほたる
技法 金研出蒔絵(ほ)
平蒔絵、平文(ほ
たる)



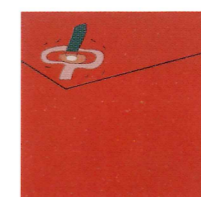
のり
技法 檜、漆絵



とんぼ
技法 漆絵
布目仕上げ



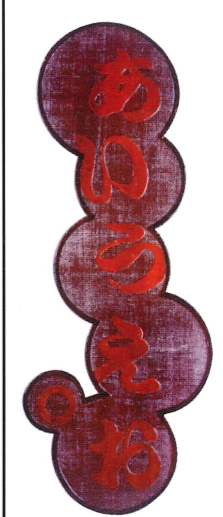
ぞう ぞうむし
技法 漆絵、呂色仕上げ
沈金、素彫り(ぞ
うむし)



こま
技法 漆絵、呂色仕上げ



おに
技法 象牙(角、牙)
七宝焼(目)
金、切金(鼻輪)



榎川小学校、榎川小学校の児童の皆さんの協力のもと『あ〜ん』の文字ではじまるもの』のスケッチを描いていただきました。そのスケッチをもとにデザインを起し、制作にあたりました。個性溢れる子供達の絵を、種々の技法によって一枚一枚丹念に仕上げた漆絵です。

デザイン
ケニアボラデザイン 宮原 克人
制作
(財)木曾地域地場産業振興センター
木曾漆器工業協同組合
石本 則男 加藤 一三
中 正実 広田 純一
深井 公 深井 憲二
宮原 伸司



URUSHI is the Japanese traditional lacquer ware. In Narakawa village, people have used URUSHI for making craftwork and artwork for more than four hundred years. These pictures are made of URUSHI. The idea of designs came from the drawings of local children, and the skilled URUSHI craftsmen used their various technique to make them. Each one of the pictures expresses the Japanese alphabet.



日本の誇る伝統工芸、漆芸の里である榎川村での壁画制作にあたり、より多くの人々が関わることでできるものづくりはできないか? というコンセプトのもとこの企画をすすめていきました。児童のみなさんに依頼していたスケッチが多数届き、デザインにおいては児童のスケッチの良さ、おもしろさをより引き出す構成を心掛けました。漆という素材での表現ということで、制作者である職人の方々と表現方法、技法等について検討を重ねながら制作にあたりました。職人さん達の優れた技術力に後押しされながら、このような漆絵が完成した喜びを感じています。

宮原 克人